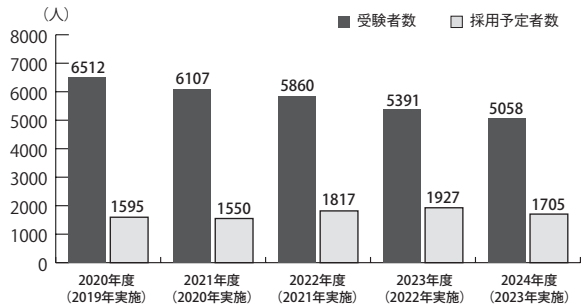
File No. 03

埼玉県

面　積	3,798㎢
人　口	7,329,258人
県の花	サクラソウ
県の木	ケヤキ
県の鳥	シラコバト

求める教員像	○健康で，明るく，人間性豊かな教師 ○教育に対する情熱と使命感をもつ教師 ○幅広い教養と専門的な知識・技能を備えた教師
出願期間	公開日　3月15日（金） 電子申請　4月3日（水）10:00～5月9日（木）17:00
試験日程	1次試験　試験日　7月7日（日） 合格発表日　7月26日（金） 2次試験　試験日　［小・中・養・栄］①8月10日（土）②8月18日（日）③9月1日（日）［高・特］①8月4日（日）②8月18日（日）③8月19日（月）～22日（木）の指定した1日 合格発表日　9月30日（月）
年齢制限	昭和39年4月2日以降に生まれた者
募集教科	**［小］　［中］**国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語　**［高］**国語，地理歴史，公民，数学，理科，保健体育，音楽，美術工芸，書道，英語，農業，電気，機械，建築，デザイン，情報技術，土木，工業化学系，福祉，商業，看護，家庭，情報　**［特］**特別支援教育，自立活動　**［養］　［栄］**
特記事項	**■特別選考　●障害者特別選考**　1次を免除。必要に応じ，2次の一部を免除又は内容を変更。**●教職経験者特別選考　○本採用教員経験者特別選考**　ア．県内公立の本採用教員としての教職歴を令和6年3月31日現在2年以上有する者。イ．国立，さいたま市立又は県外の公立の本採用教員としての教職歴を令和6年3月31日現在2年以上有し，令和6年4月1日現在引き続き本採用教員として任用されている者。ア又はイ該当者は，1次を免除。**○臨時的任用教員経験者特別選考A選考**　ア．県内の国公立の常勤の臨時的任用教員等として直近3年間で7か月以上の経験者。イ．令和6年5月1日現在，県内公立の常勤の臨時的任用教員等である者。ア又はイ該当者は，1次の教職・一般に代えて集団面接を実施。**○臨時的任用教員経験者特別選考B選考**　A選考のアの条件を満たし，令和6年度又は令和5年度試験の1次を合格した者は，1次を免除。**●セカンドキャリア特別選考**　ア．民間企業等の本採用職員としての勤務経験を令和6年3月31日までに5年以上有する者。イ．普通免許状を所有又は令和9年3月31日までに取得見込の者。ア及びイを満たす者は，1次の教職・一般に代えて集団面接を実施。**●看護師等経験者特別選考**　［高］福祉，看護，［特］自立活動志願者で，規定の要件を満たす者は，1次を免除。**●大学推薦特別選考**　1次を免除。**●彩の国かがやき教師塾特別選考**　［小］［中］志願者で，令和5年度受講者生は，別途定める要項による。

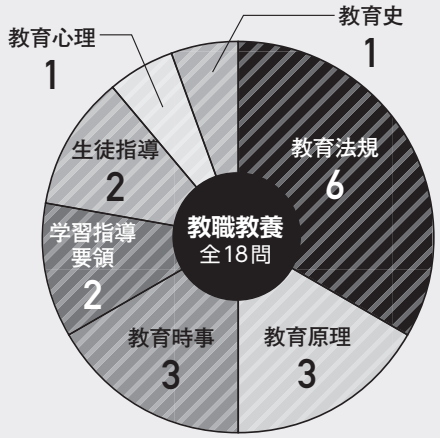
▼受験者数等推移



▼令和４年度　問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ（件）	29,706	5,328	281
不登校（人）	4,408	9,946	3,328

2025年度（2024年実施）筆記試験DATA



▶ **生徒指導で必出の「生徒指導提要」**
▶ **教育法規で必出の地方公務員法，いじめ防止対策推進法**
▶ **時事問題では文化庁の移転についても**

〈教職教養〉では例年，四択形式で幅広い分野から出題されており，今年度も同様であった。

学習指導要領では，総則の「児童の発達の支援」と「学校運営上の留意事項」について出題された。

教育原理（特別支援教育等）のうち，特別支援教育では，「障害のある子供の教育支援の手引」（2021年）から「障害のある子供の教育に求められること」に関する問題が出題されたほか，「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について（通知）」（2022年）等も出題されている。

生徒指導では「生徒指導提要」（2022年）が必出である。今年度は第1章から「集団指導と個別指導」が，第10章から「不登校児童生徒への支援の方向性」が，それぞれ出題された。

教育時事では，「第4期教育振興基本計画」（2023年）から「Ⅱ．今後の教育政策に関する基本的な方針 5つの基本的な方針 ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話」に関する問題が出題されたほか，「学校評価ガイドライン［平成28年改訂］」（2016年）等も出題された。

教育法規では必出の地方公務員法，いじめ防止対策推進法，頻出の教育基本法，学校教育法，学校保健安全法のほか，教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律も出題された。

教育心理ではピアジェの認知発達理論の理解を問う問題がみられた。

教育史では例年，西洋・日本を問わずさまざまな時代の人物名とその思想上の特色を理解しているかどうかが問われており，今年度は西洋教育史からルソーに関する問題が出題された。

〈一般教養〉のうち，**人文科学**では例年同様，国語（格言・ことわざ，文法等）と英語（英文法，会話文，文章理解）のほか，音楽，美術から出題されている。**社会科学**では日本史，地理（日本の諸地域の特徴），時事が頻出であり，今年度はこれらに加えて，政治や経済からも出題。**自然科学**では数学（二次関数，平面図形等）と理科の各領域が頻出であり，今年度も同様の傾向であった。